

ミミカキグサ

Utricularia bifida L.
タヌキモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内ではもともと稀産種であり、湿地の消失や生育環境の悪化によって絶滅の危機にさらされている。

分 布

本州～琉球に分布。県内では美浜町、敦賀市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

湿地や溜池の縁等に群生する多年生の食虫植物。地中軸は泥中を這い、所々から長さ6～8mmで線形の地上葉を出し、地下部と稀に地上葉に補虫囊をつける。8～10月、高さ5～15cmの花軸に黄色の花を2～7個つける。

生育を脅かす要因

湿地開発、遷移進行、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（2001）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○									○	○	

ホザキノミミカキグサ

Utricularia caerulea L.
タヌキモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内ではもともと稀産種であり、湿地の消失や生育環境の悪化によって絶滅の危機にさらされている。

分 布

北海道～琉球に分布。県内では美浜町、敦賀市、越前市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

貧栄養な湿地に生える多年生の食虫植物。横走する地中軸からは、まばらに補虫囊を出し、所々から長さ2～3.5mmのへら状の地上葉が集中的につく。6～9月、高さ10～30cmの細い花軸を直立させ、ほとんど無柄で淡紫色の花を4～10個開く。

生育を脅かす要因

湿地開発、遷移進行、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○						○			○	○	

ムラサキミミカキグサ

Utricularia uliginosa Vahl
タヌキモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内ではもともと稀産種であり、湿地の消失や生育環境の悪化によって絶滅の危機にさらされている。

分 布

北海道～屋久島に分布。県内では若狭町、美浜町、敦賀市、越前町、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

湿地の主に泥上に生育する多年草。食虫植物で、糸状の地中軸に補虫囊をつける。地上葉はへら形で、長さ3～6mm、ときに3cmを越すこともある。数枚の鱗片葉をもつ高さ5～15cmの花軸を立ち上げ、上部に1～4個の藍紫色の花をつける。花期8～9月。

生育を脅かす要因

湿地開発、遷移進行、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○								○	○	